

## 〔正賞 社会文化部門〕

いとう・ひろみ

1. 氏名 伊藤 比呂美氏
2. 年齢 69歳
3. 肩書 詩人
4. 住所 熊本市

※年齢は2024年11月3日時点



### 【受賞理由】

現代女性の生き方や苦悩を主題に、詩や小説、コラムなどさまざまな独自の文学作品を創作し、第一線で活躍を続けてきた。性や出産、夫婦、家族、介護など自らの体験に根差したテーマに真正面から向き合い、率直な表現で発信する内容とその姿勢が驚きや共感を生み続けている。専門家ではなく当事者の視点による問題提起や情報共有をする「育児エッセー」というジャンルも確立。ときに赤裸々な表現を使い、型にはめられた女性像や育児の理想論に異を唱えてきた創作活動は、文学の新たなジャンルを切り拓いただけでなく、「女性」であることによる生きづらさを抱える多くの女性をエンパワーメントした。その功績も大きい。1998年から西日本新聞で人生相談「比呂美の万事OK」を続けているほか、2008年からは熊本で「熊本文学隊」を結成し、石牟礼道子文学の研究や文化イベントも主催するなど、九州の文化シーンへの貢献も高く評価できる。

### 【主な受賞歴など】

- |       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 1978年 | 詩集「草木の空」でデビュー、同年に第16回現代詩手帖賞を受賞  |
| 1997年 | 渡米し、熊本の両親の遠距離介護と創作活動を続ける        |
| 1999年 | 「ラニーニャ」で野間文芸新人賞                 |
| 2006年 | 「河原荒草」で高見順賞                     |
| 2007年 | 「とげ抜き 新巢鴨地蔵縁起」で萩原朔太郎賞、翌年に紫式部文学賞 |
| 2008年 | 熊本文学隊を旗揚げ                       |
| 2015年 | 早稲田大学坪内逍遙大賞                     |
| 2019年 | 種田山頭火賞                          |
| 2020年 | スウェーデンのチカダ賞                     |
| 2021年 | 「道行きや」で熊日文学賞                    |